

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議の概要紹介

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）は、昭和63年5月26日に設立された任意団体です。「技術研究発表会」や「展示会」等の各種コンベンションと「見学会」、「講演会」、「懇談会」等の活動を通じて、広く都市インフラとその技術の開発を行っている民間企業と、それらの成果を都市づくりに活用する全国の自治体等が、アーバンインフラおよびテクノロジーに関する啓発と技術開発の促進、その成果の都市づくりへの普及・活用により、高度で豊かな都市社会の実現に寄与することを目的としています。

■設立 1988(昭和63)年5月26日

■会員 多くの分野の民間企業の正会員、特別会員(国、地方自治体・独立行政法人・団体、学識経験者)、研究会員（UIT功績があった個人）により構成

■組織 組織体制は組織図のとおり

■主な活動

技術研究発表会

創立以来、論文公募の発表会と依頼論文の発表会を隔年に開催していたが、1997(平成9年)(第8回)以降は論文公募を毎年実施し、広く産・学・官の交流を中心に「技術研究発表会」(東京会場)を開催。さらに、2007(平成19)年度からは、技術研究発表会(東京会場)で表彰された論文の発表等、「都市づくりについての技術研究発表と講演会」(大阪会場)も開催。

交流展示会

創立以来、大規模の展示会を数年に1回開催し、1998年以降よりパネル展示を主体にして技術研究発表会(東京会場)と同会場にて併催。

講演会・意見交換会

年に講演会3回程度と、記念講演会2～3回程度を開催。

他に国土交通省都市局の課長、室長らを講師に迎え講演会及び意見交換会を年2～3回程度開催。

都市基盤施設整備見学会

首都圏及び地方で年に3回程度開催。*東京近郊2回、関西地区1回等

その他

1.都市基盤技術サイト運営事業

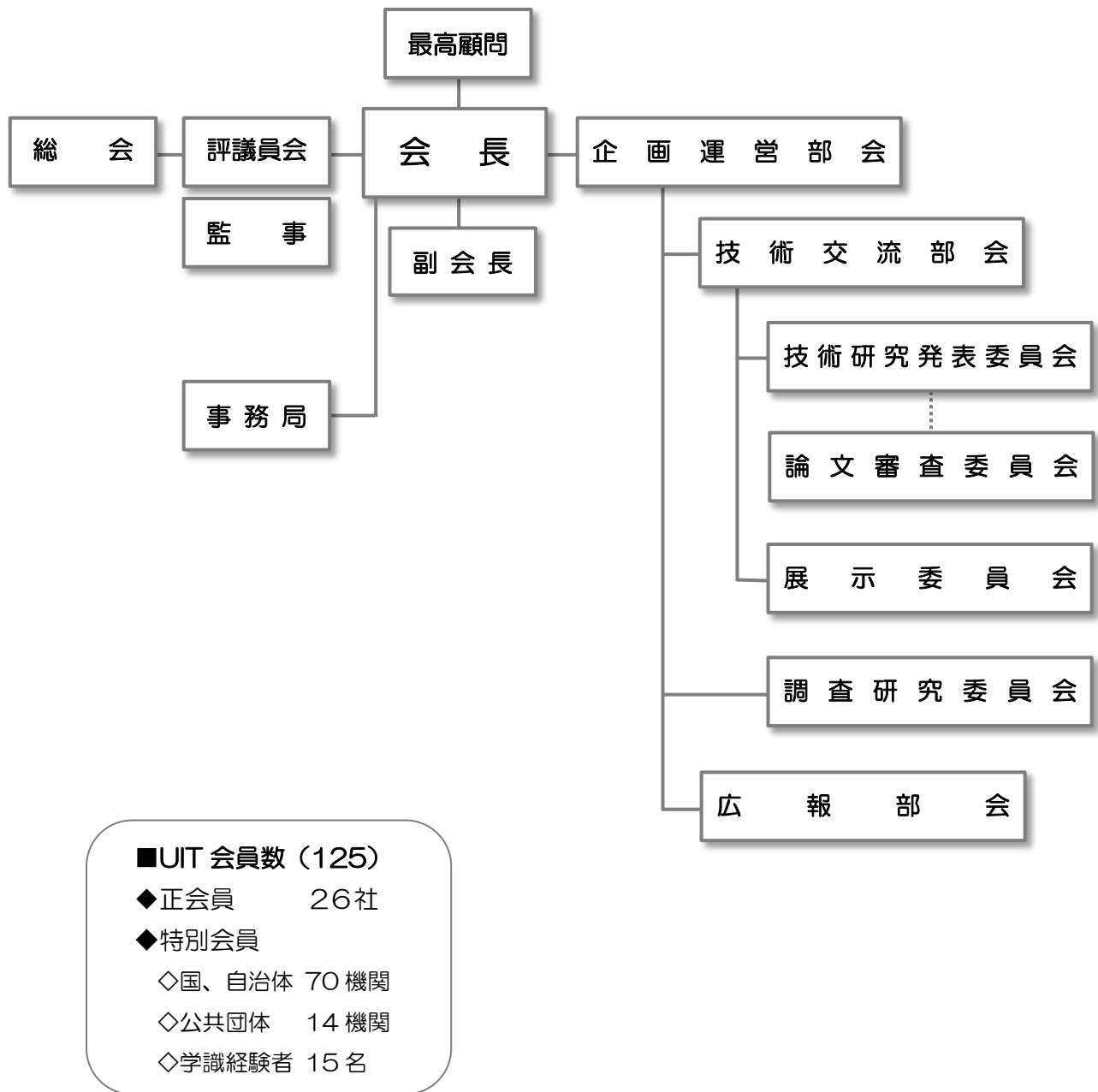
都市基盤技術の海外展開やシティセールスにあたり、日本の民間企業の有する都市基盤技術等に関する情報を総合カタログ的に取りまとめ、インターネットを通じて広く国内外に発信するサイトを運営。また、SNSを活用した情報の発信等。

2.官民連携による都市と都市インフラの再構築研究会（官民連携研究会）

老朽化する都市や都市インフラの維持更新問題を取り上げ、平成25年度から年に3～4回程度講演会・見学会・意見交換会を開催。

組織図

2018.7.2 現在



■各部会の役割

企画運営部会…年間活動計画や組織などUIT全般に係る検討

講演会、見学会、意見交換会等のイベントは事務局が実施

調査研究委員会は調査を受託した場合に、評議員会の承認を得て設置

技術交流部会…技術研究発表会や展示会に関する企画・運営（各委員会の開催）

広報部会……HPの更新、インターネット等を活用した広報、機関誌、ニューズレター等